



ふるさと21ドクターズに込めた思い



株式会社ヘルシーパス 田村 忠司



なぜサプリメントメーカーである  
ヘルシー・パスが、  
**有機農産物**の産直サービスを  
紹介するのか？



- 1 · 予防・先制医療に有効なツールを  
ドクターに提供したい
- 2 · 良い食生活で、  
健康を取り戻す方を増やしたい
- 3 · 健康と、環境保全に役立つ農業を  
次世代につなぎ、発展させたい

実は…



「日本人の栄養状態は  
あまり良くない」

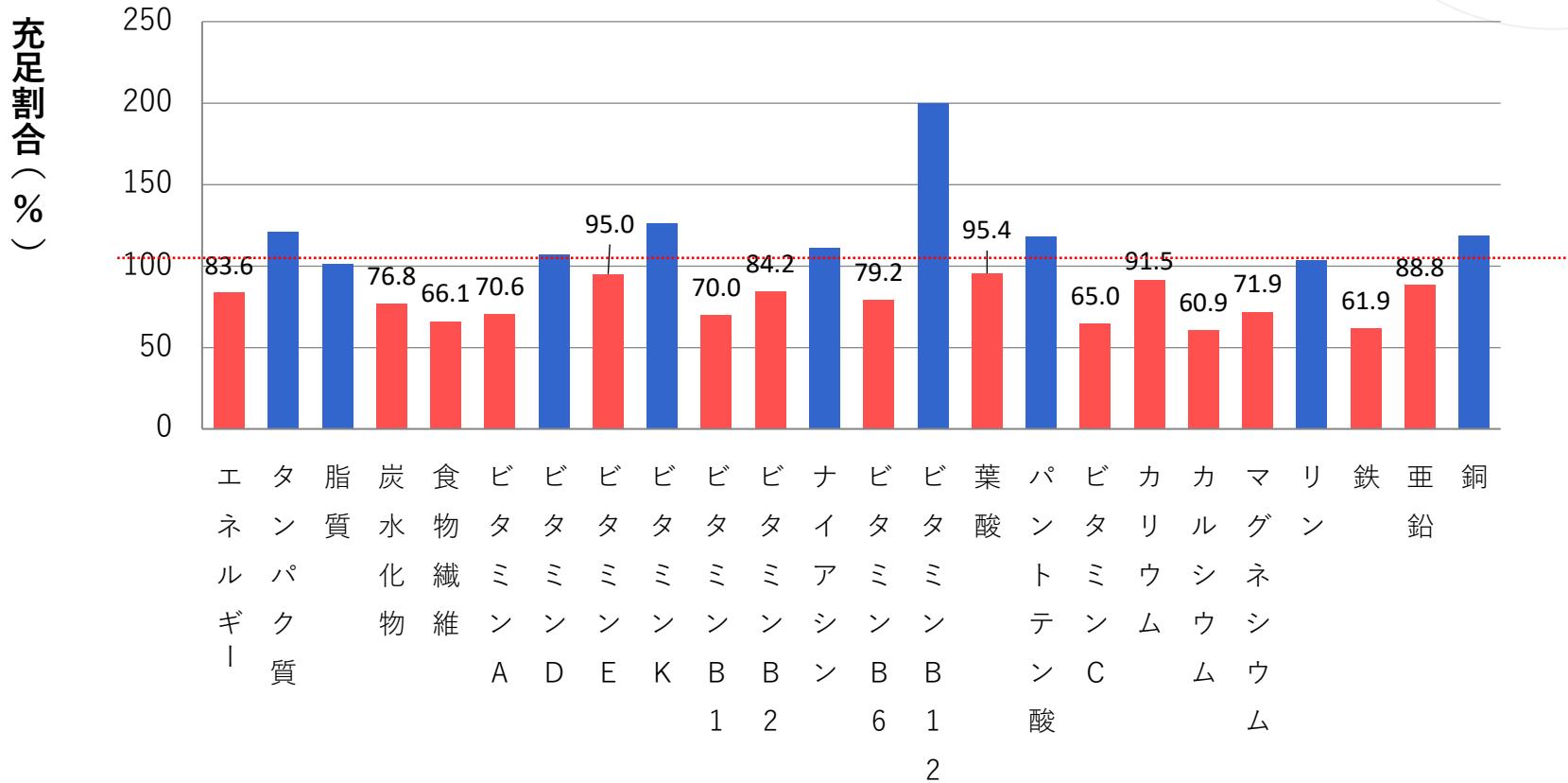
という事実。



# 現代人の栄養素摂取状況



## 20～29歳（女性）の食事摂取基準と比較した栄養素摂取量



厚生労働省 平成28年 国民健康栄養調査より

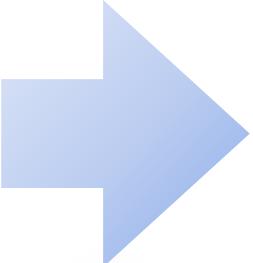
# 食事を自宅で作らない傾向が強まっている



## 20世紀の日本人



食材を購入し、  
自宅で調理する  
機会が多くかった



## 21世紀の日本人



加工食品、出来合  
の総菜チェーン、  
外食店利用頻度  
が増加

農林水産省の推計では、私たちの口に入る農作物の8割(金額換算)が、  
加工・調理されたものになっている。

# 便利な加工食品、安い外食の問題点



食品製造企業は食中毒などのリスクを削減する製造・保存を遵守しなければならないことと、競争に勝つための

安い  
カンタン  
見かけがキレイ  
腐らない

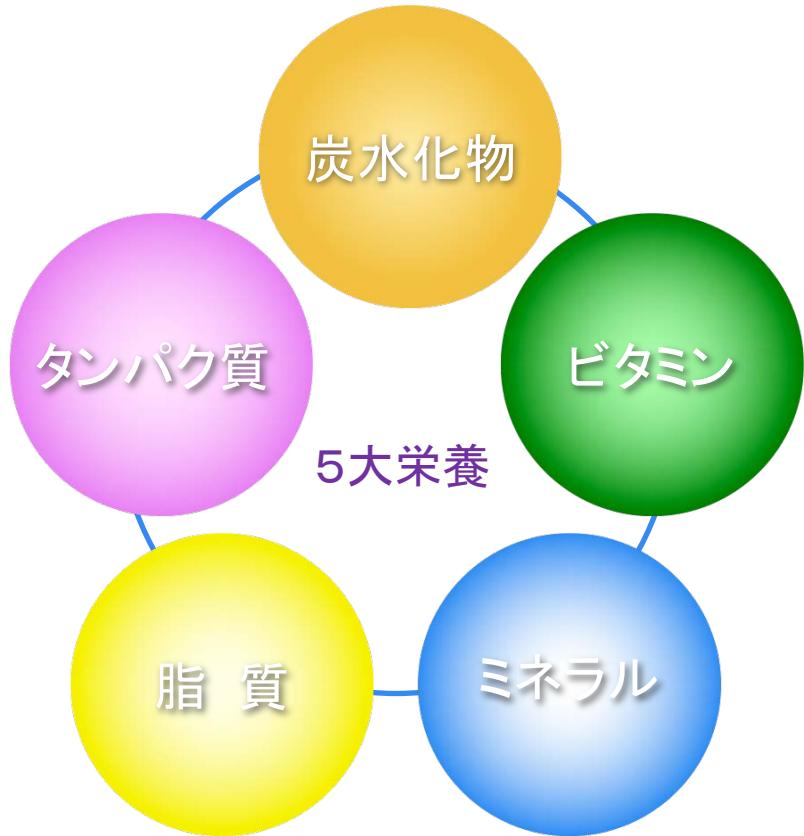
これらを追及した  
結果食品として  
最も大事なことが  
抜け落ちている

- 1・微量栄養素が欠乏している
- 2・添加物のせいで、ミネラルの吸収を妨げる
- 3・塩分や糖分、脂肪分の過剰摂取に

# 対応策



5大栄養素のバランスが取れた食生活を実践する。



- ・旬の野菜、果物を増やす
- ・ゆっくりと血糖値を上げる食物を選ぶ
- ・加工食品を減らし、「旬」のフレッシュな食材を選ぶ
- ・体に悪い油を避ける
- ・調味料はケチらず、良いダシを使う。

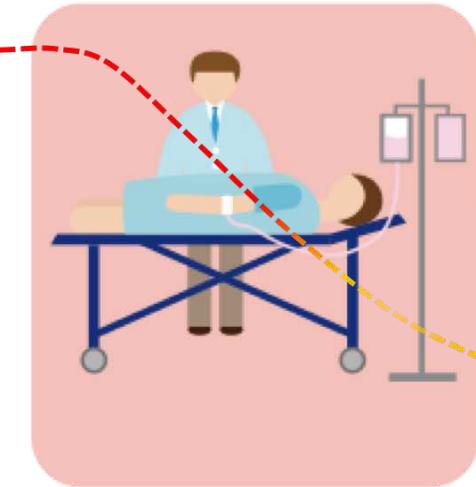
# 医療のツールを使い分ける



最終的には健康維持・予防をサポート。

症状の緊急性度

手術・医薬品



サプリメント



優れた食材

(美味、栄養豊富、安心安全)



急性期

回復期

健康維持・予防

時間の経過

しかし…



**患者さんの健康維持・予防サポートにはハードルが存在。**

そう言われてもなあ…



- 漠然と、良い食事を指導しても患者さんは実行できない。
- 栄養や生化学の話を「難しい」と感じてしまう患者さんが多い
- 良い食材を入手する方法を知らない人も多い

**ヘルシーパスも、ドクター同様、上記の課題を抱えていました。**

# ふるさと21ドクターズのきっかけ



有機JAS農産物を扱う「ふるさと21」の存在を知る。

- ふるさと21との出会いは、  
**福田さんの有機リンゴを  
食べて感動したこと。  
最初は顧客として。**



その後、有機農法家を支えるクラウドファンディングを行っている  
ふるさと21の森社長をネットで知り、「一緒に仕事しませんか?」  
とメールをお送りした。

# ところが、有機農業もピンチ！



そして日本の有機農業の現実を知る。

- 有機農産物の生産量はたったの 0.5%  
そうでない農産物が主流なのは異常。  
⇒ 農薬を使った壮大な人体実験中！？

- 有機農業は「不可能」ではない
  - ・ 江戸時代以前に農薬はなかった。
  - ・ 現代でも実践している人はいる

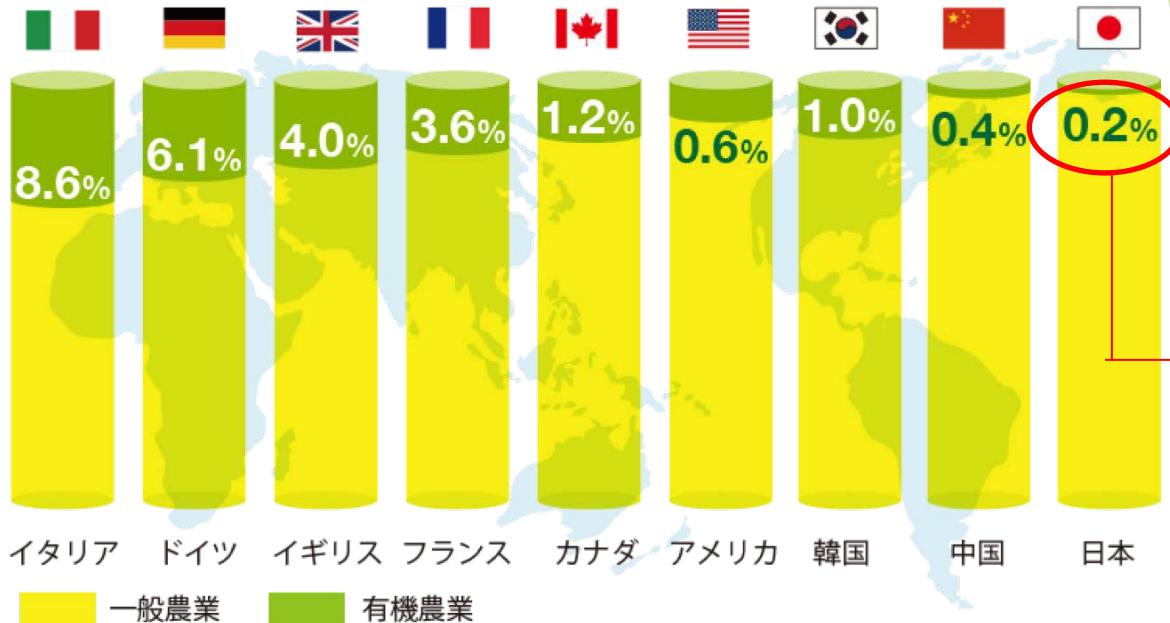
- やらないのは、労力と経済の問題

# 有機農業の実態



日本の有機農業は世界に比べて瀕死の状態。アジアの中でも中国や韓国からも遅れている。

■各国の国際基準のオーガニック認定比率(農林水産省)



0.2%という消えそうな数字

# 時間がない、という現実

日本の有機農業が消えてしまう可能がある。



- 優れた農産物を育てる生産者も  
少数存在するが、**高齢化が進んでいる。**



- 速く**後継者**を育てなければ、  
**技術が継承されない**



- 有機農業の後継者を育てるには、  
**経済的な土台が必要**

(生活が成り立たないと、人生を賭けられない)



希少な有機JASリンゴを栽培する福田さんは80歳を超えたが、後継者がいない。

# 結局のところ(課題解決には)

日本の有機農業を継承し、拡大するためには。



- るべき農業が普及するには  
良い食材を積極的に選ぶ消費者が  
増えることにつきる
- 買ってもらえるなら、生産者は作れる。
- 解決策は、  
**「良い農産物を求める  
消費者を増やすこと」**



患者さんのみならず、子どもの健康を考えると有機農産物が好ましい。

# 全体の構想



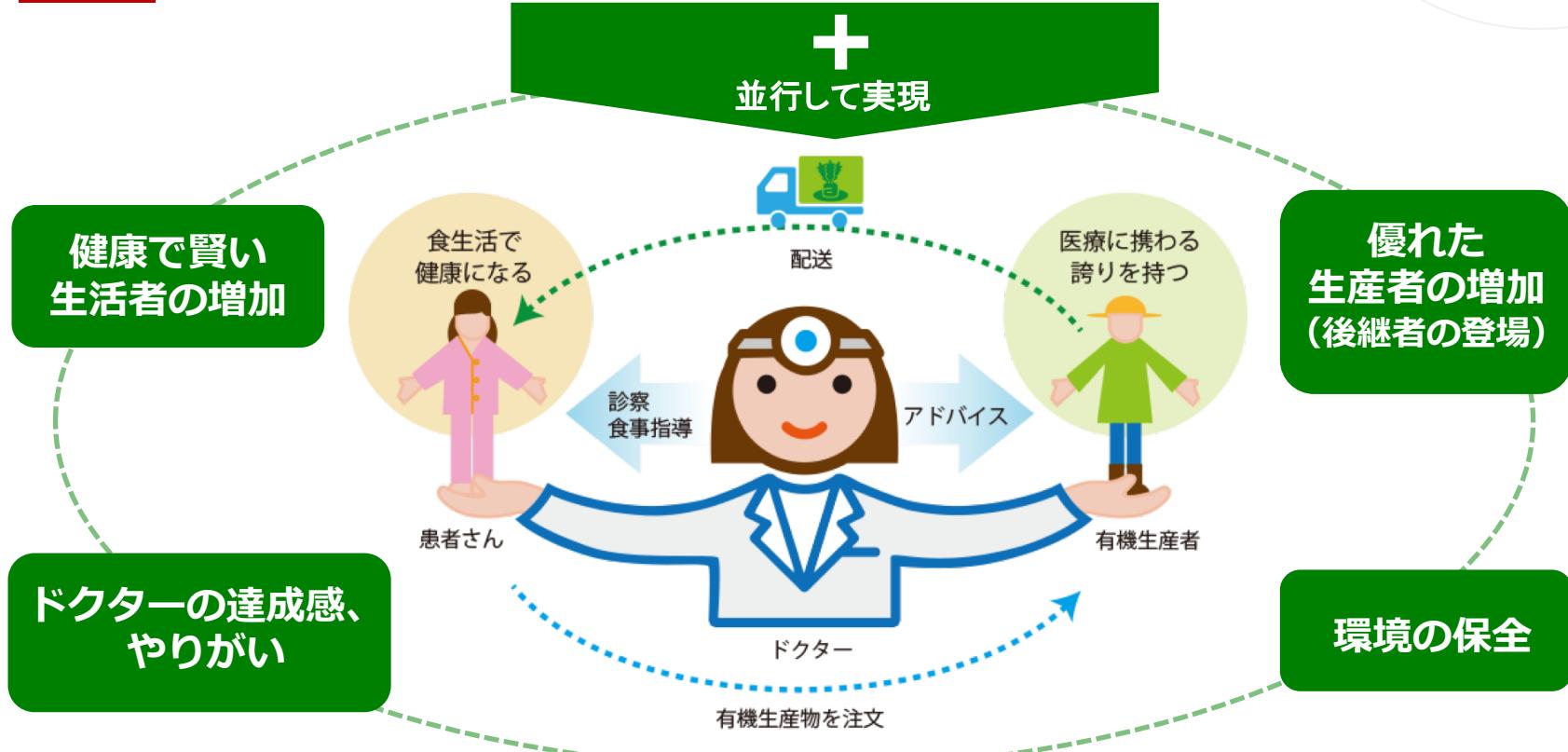
ドクターが患者さんに勧めることで、もたらす変化。

患者

優れた食材で健康を回復

+

並行して実現



ドクターと農家がつながることで、医療の未来も創る。農業の未来も創る。

# 全体の構想

ふるさと21ドクターズが目指す世界観。



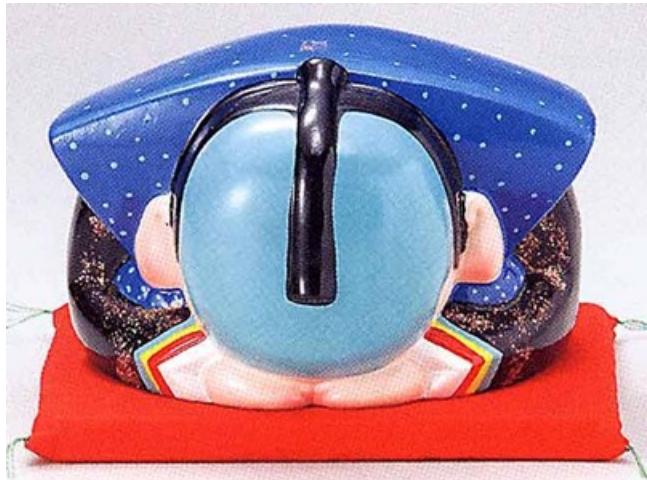
「医療の未来」と「農業の未来」に貢献したい。

# 是非、お力添えをお願いします



健康を回復する患者を増やし、  
やりがいを持って働くドクターを増やし  
優れた農業を後世に伝える

そのために、  
ふるさと 21 ドクターズをスタートしました。  
是非、お力添えください。



株式会社ヘルシーパス  
代表取締役社長  
田村 忠司  
静岡県静岡市葵区栄町2-10 1192ビル  
無料通話:0120-797-464(平日9時~18時)  
E-mail: info@healthy-pass.co.jp  
URL : <https://www.healthy-pass.co.jp/>